



働く外国籍住民にインタビュー



こんにちは。寒い日が続いていますが、みなさん元気にすごしていますか？

さて、コロナ禍が明けて以降、本市の在留外国人は非常に増えており、多くの方は就労目的です。全国的に労働力不足が問題となっていますが、今後IADでは定期的に、市民のひとりとして働いている外国人の皆さんを紹介していきます。外国人住民目線での、市の魅力や困り事なども、インタビューしていきます！

Q. 富士吉田市に住むことになった理由は何ですか？

A. 仕事で来ました。ネパール人の兄弟が面接の手配をしてくれました。

Q. 仕事では、どんなことをしていますか？

A. ガラスびんなどを収集して、市の環境美化センターに運びます。私はリサイクルと言いたいのですが、ここではゴミ作業と呼んでいます。

Q. 生活していて、困ることはありますか？

A. 日本の物価は非常に高いです。私がここに来たときの米の価格は、今の2倍近くでした。

Q. 趣味はなんですか？お休みの日は、何をしていますか？

A. 車の運転が好きです。休日は、買い物に行くこともあれば、ネパール人の友達に会いに行くこともありますが、たいていは自分の部屋でSNSをしています。

Q. 富士吉田市の好きなおところはありますか？

A. 富士吉田市自体も良いですが、私の中では



名前：Karki Khagendra ※名字・名
出身国：ネパール
富士吉田市に住んでいる期間：11カ月
会社の名前：(株)ワン・スリー

富士山の魅力がさらに増したような気がします。

Q. これからチャレンジしたいことや、目標はありますか？

A. ネパールにいる家族をよんで、いっしょに暮らしたいと考えています。日本の車は高いですが、購入しようと考えています。

※日本語でインタビューに答えてくれました。ほぼ原文です

問合せ ■ 市民協働推進課 ☎ 内線 638